

125号
Autumn
2013



全国まごころケアネット



紅葉

CONTENTS

卷頭言 2020年東京オリンピック 1

センター紹介 2~9

向こうへ向こうへ
私の内情・深まる学び 10~16

10~16

1

2020年東京オリンピック



特定非営利活動法人
日本ケアシステム協会
会長 兼間 道子



2020年オリンピックは東京に決定。イスタンブールとの決選投票で60票をとり圧勝、思わず声をあげ涙が溢れました。過去に開催された東京オリンピックの時、私は高校生で聖火ランナーに加わって走った思い出があります。50年も前のことですが、バスケットボール選手としてインターハイや国体など全国を遠征していた娘時代です。その時の監督とコーチの叱咤激励は私の肉となっているし、遠征先で温かいおもてなしを受けた数々のエピソード。特に新潟国体でのこと、試合に出かける朝、梅干しと鰯入りのおにぎりを「塩を効かしとるから」と手渡された民宿のおばさんの微笑みは、頑張れと背中を抱かれた感覚を今でも忘れません。そんな思い出などが要因かオリンピック誘致には力が入るのです。海外の方たちが来訪したら私にもできる何かを提供したい。日本と日本人を知ってもらうチャンスだから。

さて、誘致にはプレゼンテーションが不可欠です。英語やスペイン語でのアナウンスが求められます。報道で知るのみですが、日本のプレゼンテーション力がここまで上がったのかと驚嘆しました。とりわけ、クローズアップされたのが原発思います。誘致委員は、隠さず、むしろ積極的にあえて触れたことは得策だったと思います。津波復興には、世界中からお世話になったことへの感謝の気持ちも伝えました。

また、パラリンピック選手佐藤真海さんのプレゼンテーションは、感動でした。東日本大震災では、宮城県気仙沼市の実家が津波の被害に遭った佐藤さんが、骨肉腫で右膝から下を切断したこと、そして、スポーツは希望だと訴えたことも誘致委員の心をつかんだと思います。これまで日本人は、プレゼンテーションが下手だと思われてきましたが、日本人も大したものだ、と力量を見せてくれたように感じます。それだけの要因で決まったのではなく、総合点で「1位」だったということです。

スポーツは健康に欠かせません。オリンピックの選手でなくても身体を動かすことがどれだけ豊かになれるか効用は多大です。これから時代を育む子たちが、オリンピック観戦によってスポーツ意識が高まることへも期待したいと思います。

おめでとう、向こうへ向こうへ。



まごころケア旭川

「利用者さんに育てられ、励
まれる」

泉 祥子

まごころサービスのホームヘルパーになって16年になりました。利用者さんの、「待つてたよ。」や、「来てもらえなくなつたら困るから、交通事故や風邪に気をつけてね。」の言葉を励みに、体調管理や事故に気を配り、なんとか続けてくることができました。

たくさんの利用者さんにお会いしました。さまざまなケアを体験しましたが、ターミナルケアにも数回かわらせていただきました。1番つらいケアだったのは、高校生で末期ガンだった方の看取りでした。口数が少なく、自分の運命を受け入れているかのような凜とした姿に、帰りの車の中で度々泣いてしまいました。一度でいいから笑顔が見たいと思い、口べたなりしましたが、とうとう見ることができなかつたのが心残りでした。

利用者さんの言葉で、特に印象に残つたものがあります。それは

「貴女は、色々なお宅を訪問して、色々な人生を経験しているようですね。」とおっしゃった、103歳で天寿を全うした。明治生まれの氣骨ある女性の言葉でした。その方から旭川の歴史をたくさん教えていただきました。

ヘルパーのケアは、利用者さんの人生の、ほんのいつときのかかわりあいです。とても同じ人生を

経験しているとは言えませんが、共に笑い、共に泣くことを経験できたことは、私の人生に、たくさん思い出と、人の身になることの大切さを教えていただけた、貴重ないつときであつたと思えるのです。これからも出会いを楽しみに、そして、今まで出会うことができた利用者さんの、素敵なお人生を思いながら、ケアに励んでまいります。

松田 昭子

私は、今年初めて、女性の介助で一泊旅行に行きました。

その方は、若くて脳出血により右半身麻痺、左足麻痺で車椅子を使用しています。いつも体が重く、痛みやしひれを感じていましたが、頑張って、着替え、ベッドで横になる事、トイレ、通院も自分で予約したタクシーに乗り、一人で通

うまでになりました。私達ヘルパーもよく頑張っていると喜んでいました。しかし、自立してくると今までお世話しに来られた方が来なくなり、ヘルパーも時間が短くなり、一人過ごす時間がが多くなりました。訪問すると、暗い部屋でボツンと座つている後ろ姿は、寂しくなりました。体調の悪さを訴えています。

そんな時、リハビリの先生が定期的に訪問する事になり、彼女が「若い頃の職場の仲間に会い、食事をしたり、買い物をしたい。」と聞きました。それから彼女は驚くほど明るく、元気でした。まごころの事務所でも初めての事でしたが、こんなに喜んでいる彼女の希望を叶えたいと何度も話し合いがなされ、リハビリの先生と打ち合わせたおかげで、充分彼女は満足しました。帰りにご主人と息子さんが迎えに来てプロ野球観戦しました。息子さんが、優しく車椅子を押してくれたそうです。

心配された疲れもほとんどなく、彼女には「また、行きたい。」と課題ができたようです。私は訪問して利用者さんの痛み、苦しみ、哀しみ、寂しさを感じ、ながら仕事をしていましたが、これからは、何が好き、何が嬉しいの

MAGOKORO センター紹介

か、楽しいのか搜すことも忘れず、仕事をしていきたいと思います。

佐々木久美子

「気をつけて帰るんだよ。」「忘れないかい。」と利用者さんに声をかけられながら、ちよつと頼りないヘルパーを続けて7年目になります。

ロシアに抑留されていた方、終戦が、後何日か遅かつたら、戦地に出動していたという方、満州から戦争になつて戻ってきた方など、ばつばつと語ってくれる言葉には重みがあります。その経験が、気骨となつて精神を支えているように思えます。

供も孫も曾孫もいなかつたんですね。そう考えると、凄いことだよね。その言葉に、彼女の存在の大きさが見えてきます。

小さい頃から、子守や農作業、働いて働いて、「女は手を休めちゃいけない。」との親の教えを守つてきた方。働いてきたことが彼女の確固たる支えとなつて、今の自分を納得して受け入れています。

長く生きてこられた方の、生きていく姿勢や、その人を支えてい

るものに触れさせてもらえるのは、この仕事のおもしろさです。

自分はどんなおばあさんになつているのかと、考えると怖いものがありますが、日々、生きていると、なんとなく勇気をもらつています。

いうことの凄さを見せてもらつて、頼りないヘルパーですが、続けてこられたのは、このような利用者さんの姿だつたと、この原稿を書きながら思いました。

まごころケア 塩釜 福祉有償運送（移動サー・ビス）について

まごころケア 塩釜

福祉有償運送（移動サー・ビス）について

大畠直晴

このサービスは、病院への通院

介助やお買物の付添をするサービ

スです。

ご利用者と1対1で接し、長時間に及ぶこともありますので、その人の好み話題や性格などを考えた方。働いてきたことが彼女の確かながら移動サービスを進めます。

口数の少ない人は、どのような話題でお話を交わすか？手順を一つ間違えても叱られそうな人には、どう接したら良いか？など傍目で

は気が付かない心労も多いものです。ある時は、病院に忘れ物をしてしまい、利用者に大目玉を喰らい、翌日、朝一番で対応をとつて事なきを得た事もありました。

何があつても、最後は、ご利用者に喜んでスッキリとした気持ちになつて戴くのが私たちの務めですので、心で泣いても、いつも顔は「笑顔」です。

次のサービスの日には、元気でお会い出来る様にお互いに挨拶を交わしてサービスを終える日が統一されます。

私の喜び

千葉まさ子

「おはようございます。まごころ

塩釜のヘルパーです。」と挨拶しながら、玄関を開けましたが、応答がありません。心配・心配どうした

いませんでした。トイレの中でも

お世話している家族や利用者の方の思いを感じ、気持ちよく、清潔に生活できる様に、在宅支援の一端を担うことができればと思いま

す。元気良く笑顔で、皆さんに接

しよう。それに、体調も充分注意しなくちゃ。

まごころケア サー・ビス 福島センター

ヘルパー11年生

匿名

私がヘルパーの資格をとつてすぐに関わった利用者の中に、30代

もので調理。何を作ろうか、お好みの物は、味付けはと、なかなか難しいものです。さあーできた、召上つて戴く。その間、洗濯機を回し、掃除です。声掛けしながら、洗濯物のチェック。着替えている。トイレは汚れ無し。という事は、おなかの調子は良し。ベッド周りもきれいに。日誌を書きながらおしゃべり。長くなりそう。次の利用者様があるのでと、おいとます。「ありがとうございます」とお礼の言葉。「こちらこそありがとうございました。」次は、身体介護の方だ。ご家族の方が、四六時中お世話している。家族や利用者の方の思いを感じ、気持ちよく、清潔に生活できる様に、在宅支援の一端を担うことができればと思いま

す。元気良く笑顔で、皆さんに接しよう。それに、体調も充分注意しなくちゃ。

まごころケア サー・ビス 福島センター

ヘルパー11年生

私がヘルパーの資格をとつてすぐに関わった利用者の中に、30代

でリュウマチを患い、同居家族（長女、長男）の支援が殆ど得られず、生活全般を、ヘルパーの支援を受けて生活している女性が居ました。わずかに残った残存機能をフルに使い、変形した手で息子の為におにぎりを作り、罵声を浴びせてくる娘に気を遣いながら出来る限りの家事もしていました。

9年近く支援した頃、東日本大震災がおきました。娘は仕事が無くなり、息子は半年前から音信が取れず、利用者のわずかな年金だけの生活になり、震災後5ヶ月が過ぎた頃には賃貸料滞納、電気もガスも止められました。

その過程は、ケアマネージャーにも報告し指示を仰ぎ、在宅だけでは支えきれないからと通所でのバイタル、保清、最低限の食事の確保をしました。ケアマネージャーは福祉課とも連携をとり、娘とコンタクトをとつてくれましたが、娘の反発が激しく、利用者自身も娘をかばい、生活から助け出しが出来ませんでした。3ヶ月を過ぎても生活は変わらず、室内で倒れていたところを訪ねて来た人に見つけられ救急車で緊急搬送、極度の低血糖と低体温で意識が戻らないまま、家族に看取られることもなく亡くなりました。その場を助けても家族が動かない。

悪性リウマチMさんを九年間 介護して

本田 なが子

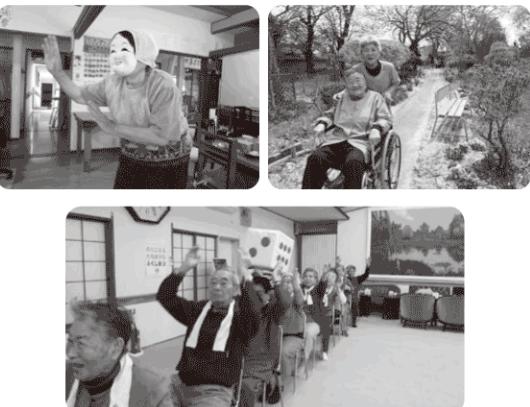
娘二人は他県へ嫁ぎ働いてもいる。夫と一人暮らし、夫の介護有

いと解決にはならないと言われ、利用者を第一に考えたいと思つても、ヘルパーの立場では何も出来なかつた事が懺悔と疑問としてりました。

制度やケアマネージャーの考え方で支援の方法は変わり、違う形をとつていれば助けられた命だったのです、と思つています。

その後入退院をくり返す。まご中トイレにて転倒、翌朝、妹が来るまでそのまままでいた。オムツ利用となりヘルパナイトケアで入がスムーズに出来ました。

本人の機能低下と夫も高齢となり介護が重荷になり、買物調理、食事介助追加となり、一日四回入ると介護保険限度額を超えた分をまごころで補うことで、自宅で安心して過ごすことが出来た、と本人は喜んでいました。



り。最初の頃は掃除、洗濯、入浴、全介助多様の毎日。本人も指の間セルでリモコン操作で起き、移動、食事も子供用スプーンを両手で持つて食べていたが、重いとプラスティックの軽い物に変えました。

ひとりで起きた時転倒、背骨を痛めコルセット使用。それまで入浴時浴槽に入っていたが、不安でシャワー浴となる。この時は自宅で。

膝炎症で入院、リハビリ横歩きだつた為、自宅に戻つてから手引き歩行が出来なくなりシャワーカー利用となる。また、本人ひとりでトイレに行つていたが、夫外泊夜中トイレにて転倒、翌朝、妹が来るまでそのまままでいた。オムツ利用となりヘルパナイトケアで入がスムーズに出来ました。

まごころケアサービス二本松センターは、商店街の一角にあり、地域密着のアットホームなデイサービスです。民家をベースにした建物で、一日の定員は12名の小さな施設です。

午前中は、一人ずつ入浴している。ただ、午後はゲームや創作などのレクリエーション、希望者は、くもんの学習療法も行つております。



まごころケアサービス 二本松センターについて

まごころケアサービス 二本松センター

センター長 西間木俊一

MAGOKORO センター紹介

MAGOKORO センター紹介



私の担当しているA様は、一人暮らしです。A様に訪問させて頂いて早三年が過ぎました。近くに住む息子さんやら遠くの娘さんが毎週関わっておられ、良い生活をしています。娘さん達が来て下さる時など、好きな物を用意しています。A様とヘルパーの合作の手料理です。

「一人暮らしで生活していられるのもヘルパーさんのおかげ」と、いつも感謝の言葉をかけてくれま

並木 節子

近くに桜、紅葉の名所もあるので、季節ごとの外出も楽しみにされています。今後とも、地域の皆様に愛されるデイサービスを目指していきたいと思います。

まごころケア横芝

寝室には元気だった頃、ひ孫さんを抱っこして笑つたいるふさ様の写真がありました。その抱っこ



ヘルパーとして早十二年が過ぎました。勤め始めの最初のご利用者様であつたふさ様が、この夏天国に召されました。九十三歳でした。お会いした頃にはもう会話する事も出来なくなつていたふさ様でしたが、娘さんに見せて頂いたふさ様が取つておいたレジ袋は、とても綺麗な三角に折り畳んで箱に並べられていました。とても几帳面な方だつたようです。

福田 憲恵

か一時間ほどの中でのA様のご希望にはなかなかお応え出来ませんが、ご本人の感謝の言葉に支えられております。自分がその年齢になつた時は、A様の生き方を見本として生きていきたいと思う、とても可愛らしいA様でいらっしゃいます。これからもお元気で長生きして頂きたいと思います。

まごころサービス 岡山センター

伏屋 正代

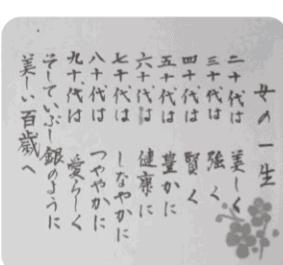
「大森さん、こんにちは お元気ですか」「はい、足・腰は弱つて来たけれど、頭はいつでも冴えているのよ!」お元気な声が聞こえて来ました。大森さんは、一人暮らし10年あまり、いつ訪問してもにこやかに大らかに迎えて下さいます。足が弱くなつてもいろいろ工夫されて、生活を楽しんでいら

ヘルパーさんの介護日記
森脇 晴子

「今日こそ入浴が成功しますよう」と願いながらK宅に入る。Kさんは、「要介護3」の認知症の方、この猛暑の日々、エアコンもつけず一日中部屋に居られる八十六才

されていた小さなひ孫さんも大きくなつて、ふさ様の栄養剤を片付けたり、お母さんやおばあちゃんのお手伝いをしていました。ふさが、みんなでふさ様の介護をしている姿は、見ていてとても微笑ましかったです。

幸せな家族だけではありません。様々なケースを担当させて頂き、私自身の人生の勉強の様です。これからも御利用者様、ご家族、両親に応えられるよう成長の日々であります。



つしゃいます。多趣味な方ですが、その中でも、達筆な字で書いて下さる色紙の言葉が、何とも素敵です。

の女性の方、介護を依頼されて、今日で三度目の訪問です。これまで「自分で入れます。」と言われ拒否されつづけ、なんとか清拭と着換えが精いっぱいでした。

今日は、「入浴」という言葉を初めてから使わずに、少し方法を変えました。思いがけず抵抗なく入浴して下さり、湯舟の中で「ゆったり」つかつておられる姿を見て、こちらの方も「ホット」とすると同時に暖かい気持ちになりました。「良かったですねKさん！」

なヘルパーさんの指導のもと、暇をみつけでは全員で作品作りに精を出し、市や事務に貢献してくれることで、いつそう団結し、話し合いの場も増え、笑顔が増えたようです。

また、念願の温泉旅行が実現し、貸し切りバスを利用し、大騒ぎしながら楽しいひと時を満喫することができました。事務所も心優しい雰囲気が漂っています。次回は協力して下さった方々がもつと参加できればと心から願っています。

ね：」と、思いがけないことを言われてしましました。娘さんから、一ヶ月以上経っているのでうつらないと、話していただきました。私がインフルエンザにかかった事を耳に入れてなければ、誤解がされたのではと思い、利用者が不安にならないように配慮しなければと今では良き教訓になります。

思います。ずっと「まごころ」の精神を受け継いで伝えていきながら、豊かな心を持ち続けたいと願っています。

まごころケア高松

思います。ずっと「まごころ」の精神を受け継いで伝えていきながら、豊かな心を持ち続けたいと願っています。

人とのふれあいの中で

今田 実香

「ありがとうございます。会えて良かった。」といつも言ってくれる人がいます。

こちらこそ、と幸せな気持ちにさせてもらえ、この仕事をしていいと良かつたと思える瞬間です。

長くやつていると色々な事が起ります。以前は仲間として働いてくれていた人が利用者になつたときます。アをしたり。自分も含めて段々とり、亡くなつた方の息子さんのケニアをしたり。皆で一緒に年をとつていくのだと実感する毎日です。

嬉しかつたり、楽しかつたり、落ち込んだり、傷ついたり。人は人とふれあう事で初めて経験や感動を得て成長していくのだと



MAGOKORO センター紹介

まごころサービス 昌敷センター

昌敷センターの今

センター長 河野 厚子

前センター長の十七回忌が終わりました。どうなるのかと心配していた当センターも、その遺志を受け継いだ皆さんのお陰で、今では笑いの絶えない事業所になりました。

毎年、玉野市が開催する医療・福祉・民間による「元気まつり（作品展示・物販売等）」にも参加しています。洋裁得意

まごころサービス 昌敷センター

教訓になつた悲しい出来事

杉谷 あづみ

ヘルパーになり最初に担当したお宅でのことです。難病と軽い認知症があり、在宅酸素をしている御主人と二人暮らしの方でした。四年目のある日、私は健康管理に努めていたにも係わらずインフルエンザにかかり、訪問を一週間休みました。その後、一ヶ月余り経つた頃、今度は在宅酸素の御主人がインフルエンザにかかり入院し、亡くなつてしまわれました。一人暮らしになつた奥様から「あなたのインフルエンザがうつったの



まごころケア 国分寺

MAGOKORO センター紹介

まごころケア
にこにこ三豊

利用者様は私のお手本

早川 ヤス子

私は二十四年間、特別養護老人ホームへ勤め定年を迎えるました。その時、元同僚がここにこ三豊を紹介してくれて、籍を置くこととなりました。施設勤務でしたので、最初は個別にご家族を訪問することに非常に抵抗を感じました。また、施設においては世間話を感覚でしたのに、在宅では利用者様の生活を助ける意味合いが大きく、対応にとまどい、辛いと思つたこともあります。

七十才に突入した今、これからは、病気をせず自立した生活を目指したいと考えています。不自由になれば、まごころとケアサービスを利用しながら長生きしたいと思います。

毎週二日、九十二才の女性の方のところへ伺っています。出来るることは自分で考えて行つて、毎日しっかりと生活していらっしゃいます。どうしても出来ない事を一緒にしています。こういう自立した生活を送つていれば認知とは無縁

なのでしょう。

毎日少しでも誰かの役にたつことが嬉しくて活動しています。さすが、福祉輸送サービスの運転は止めていますが、週二日泊まりにも行っています。おひとり暮らし

の方で、行くといっぱい話をしてくれます。しつかり聞き役にまわつて、私自身が話をしたい時は、にこにこ三豊センターへ寄り、年齢の違うヘルパーさんと話をした

り、レクレーションに加わったりして楽しんでいます。

犬の世話から猫の世話まで「いつも、どこでも、だれにでも」いつでも行ける体力と気力を維持しておきたいものです。

楽しいまごころケアサービス

井上 美喜子

「草抜き手伝つてや。田んぼもあるんや。」と誘つてもらい、六年前入社する事になりました。資格のない私が手伝える事はまだありますので…」

福祉輸送で一緒に希望を実行したときの利用者様の笑顔は、自分にとつても嬉しいものでした。気心知れた人との外出は、たとえ短い時間でも楽しい時間です。まごころサービスを利用されない方にも、ヘルパーが入つている間だけでも楽しく過ごしてもらえる事が出来れば…。一回だけ

時間内で仕上げる達成感を喜びながら利用者様と一緒に笑つていました。

一年が過ぎ、二級ヘルパーの資格取得の声をかけて頂き受講しました。

まごころケア歴



でも大きく笑つてもらえればと思います。今からまだ必要となるまごころケアサービス、利用者様と共に喜び、共に歩んで行きたいです。

5月3日・4日丸亀お城まつり、愛の広場にフリーマーケットを出店しました。

手作り作品や、皆様よりご協力いただいた不用品などを販売しました。好天に恵まれ、大勢の方が来て下さり大盛況でした。ご協力、有難うございました。

また来年に向けて作品のレポートリーも増やしたいと思います。毎週火曜日に手作り教室をしていますので会員の皆様、ご参加下さい。

毎週二日、九十二才の女性の方のところへ伺っています。出来るることは自分で考えて行つて、毎日しっかりと生活していらっしゃいます。どうしても出来ない事を一緒にしています。こういう自立した生活を送つていれば認知とは無縁

平成 25 年度 通常総会

5月26日(日)総会が開催されました。平成24年度の事業報告及び決算報告が行われ、平成25年の事業計画案、収支予算案について審議し、承認されました。



まごころケア 屋島やすらぎ

山小屋でのこと

介護福祉士 小野 みどり

この夏、長野県の八ヶ岳に登った。八ヶ岳の山小屋に一泊した。その山小屋は大部屋で1泊2食9000円。値段が上がるが個室や一人部屋もある。私たちが泊まった大部屋では、狭いところに沢山の人々が寝る。50センチ間隔で寝袋が置いてある。寝袋の中に入るには暑く、出ると

翌日、隣の家族と声を交わすとともに、山小屋を離れた。高松に帰つて、夫とそのことについて話した。「障害のある子を気遣う親に配慮してあげるべきではなかつたか」と言う私。夫は、「子どもが心配で声をかけるのなら、大部屋ではなく個室に泊まるべきだ。」と言つた。

すると隣に寝ていた夫が、がばつと起きて、「静かにしてください」と言つた。とつさに、夫の肩をつかんだ私。氣まずい空気を感じながらも、なぜか眠りに落ちていた。

後半くらいで、軽い発達障害があるようだつたので、介護職の私は、「なるほどなあ」と聞いていた。どうも子供さんの身体を気遣つている両親の声。子供さんは10代の家族連れの話が聞こえてきた。

翌日の行動のために眠りたい。そんな中、同じ二段ベッドにいる隣の家族連れの話が聞こえてきた。

だから。

あのご家族、「山登り、山小屋に泊まり、あえて大部屋を選んで他の人と同じ空間で過ごさせてやりたい。経験させてやりたい。」だろう親心。その経験の中に、うちの主人のような声も吸収されていつたことを願つていて。

まごころケア はぴねす・まんのう

猛暑の毎日です

匿名

夏の甲子園、四国勢3チーム、済美(愛媛)、鳴門(徳島)、明徳義塾

(高知)、野球好きの人は朝よりテレビ観戦、来所時のお茶10時30分、コーヒー、15時おやつ、紅茶、16時20分スポーツドリンクと水分は充分に摂つてもらっています。熱中症対策として冷たい麦茶を個々にペットボトルで出しています。

老人の交通事故が増えているとの事で、毎年交通安全教室を取り入れています。

赤・青・黄、規則を守つて自分

の身守りましょう。午前中は、脳を鍛える計算ドリル、漢字ドリルに入ります。

私の思い出

播磨 ミサ子

まごころサービス 徳島センター

お好きだった真っ赤なトマト、

MAGOKORO センター紹介

MAGOKORO センター紹介

ふやけた麺類、お好み焼、熟し柿、チヨコレート。二回目の盆が過ぎました。介護保険とNPOケアの両方で、朝昼晩合計七時間毎日の訪問です。息を切らし階段で四階まで、玄関前にて気持を整えて挨拶をする。すぐ身支度して、まず空氣を入れかえて、オムツ交換と清拭を行う。体位交換後、お食事づくり。召し上がっている間に洗濯機を回す。後片付け、洗濯干し、風呂、トイレや部屋の掃除。人の事は言えないが大変りっぱな体をされているので、左右と身体を動かし尿もれのないよう気をつけた。いつもニコニコ応対され、かならず「ありがとうございます」と言つて下さるし、怒る事もない。初回訪問の頃は、ベッドサイドやポーテブルにも座れたが、立ちあがる事も出来なくなり、物忘れも出てきた。お声かけ、お話し見守りをし、孤独にならないよう、させないよう部屋の戸を開け、いつもヘルパー（私）の姿が見られる状態にしていました。

家族の希望で施設へ入所し、そこで骨折して病院へ入院しました。昼食は、まごころのヘルパーが、夕方からはお孫さん、お嫁さんと交代で通われ、昼間は、お店の仕事があるのでせめて夜くらいはと、休むことなく座ることもなく頑張っていました。次から次へ

と病気が出て退院出来ず、お迎えが来てしまつた…。

あれから二年過ぎ仏壇が綺麗におまつりされて、お写真が微笑んでおられます。今は、御主人様（九二才）に訪問させていただいております。

人生の最期に触れて

協力会員 尾華 千代枝

私はMさんの出会いは、H21年2月でした。駆け出しの新米ヘルパーにとつては、印象深い利用者さんの一人でした。

まごころケア まごころかばか川フジ

谷智美

Mさんは、まごころサービス徳島センターの立ち上げの時からの協力会員でもありました。小柄でなかなかの美形のMさんは、シングルマザーとして生き、商売を切り盛りし、一人娘を育て上げました。新米ヘルパーの私にとつては、むしろ扱いにくく苦手な利用者さんでした。掃除一つにしても妥協がなく、きれい好きではつきりと自分のポリシーを持つた人でした。そして、Mさんには、残りの人生を左右するような大きな病気をかかっていました。特定疾患に指定されている難病（膠原病）で、20年以上前から苦しんでおられました。四六時中痛みがあり、人生の後半は痛みと、肺に転移したことによる呼吸困難に耐え忍ぶ毎日だったように思います。

H25年2月26日、静岡に嫁いでいる娘さん夫婦、お孫さんらに看取られて永眠されました。壮絶なMさんの人生の最期に触れ、「苦しみに耐え、よく頑張ったね。」と褒めてあげたい気持ちになりました。痛みの途切れの間、に見せた笑顔も忘れられません。ご冥福を、お祈り致します。

た。四六時中痛みがあり、人生の後半は痛みと、肺に転移したことによる呼吸困難に耐え忍ぶ毎日だったように思います。

島センターの立ち上げの時からの協力会員でもありました。小柄でなかなかの美形のMさんは、シングルマザーとして生き、商売を切り盛りし、一人娘を育て上げました。新米ヘルパーの私にとつては、むしろ扱いにくく苦手な利用者さんでした。掃除一つにしても妥協がなく、きれい好きではつきりと自分のポリシーを持つた人でした。そして、Mさんには、残りの人生を左右するような大きな病気をかかっていました。特定疾患に指定されている難病（膠原病）で、20年以上前から苦しんでおられました。四六時中痛みがあり、人生の後半は痛みと、肺に転移したことによる呼吸困難に耐え忍ぶ毎日だったように思います。

さんが次第に増えて、新しいスタッフも加わり、今では、部屋が狭く感じるようになりました。そうめん流しと夏祭りの金魚すくいの様子です。とにかく楽しんで頂きました。少しでも、明るい気持ちになつて頂きたい。そんな気持ちで、このような行事もおこなつております。が、喜んでくださる利用者の方々に、ただただ感謝の想いでございまます。



向こうへ向こうへ

私の内情・深まる学び

背中をおしてあげる

篠原 香織

私は、七歳になる息子がいます。息子が四歳の時、小児病院の先生にADHDの疑いがあるので検査をするように進められ検査になりました。

知能検査は、五歳から十六歳が対象で、息子は、まだ五歳になる前でしたら検査をしました。その後、医者から、ADHDとPDDの発達障害があると言われました。私は、頭の中が真っ白になりました。医者には、「ADHDは年齢と共に落ち着いてくる場合もありますし、五歳になつたら薬の方も出せません。」とのことの一切が信じられませんでした。見た目は普通で活発な元気な子だと思っていたので、「この口を境に、一瞬にしてどん底に落とされたような気持ちになりました。子供と外に出たくなくなり、家に引きこもるようになります。」病院は、月に一度通うことになっていて、五歳になった診察の時に初めて薬をもらいました。息子が五歳、六歳と大きくなるにつれ、たくさん問題が出てきました。

私は、息子は、すぐ苦しい思いをしていたんだと思い、涙が止まりませんでした。今では、七歳になり薬の量も増え、毎朝・夜に飲んでいます。そして、私自身、子供の障害のことは隠さずに話すようにしています。何も恥ずかしい事はないし、周りの人々が息子に対して、同情する人もいれば偏見で見る人もいるだろし、一人の人間として見てく

今を大切に

廣瀬 美知代



私の子供は、知的障害者です。生まれた病院で母乳を与えるようにしました時に、何回吸わせてもすぐにやめてしまします。他の赤ちゃんを見ると、一生懸命母乳を吸っています。何かおかしいと感じました。看護師さんにすすめられて、哺乳びんで飲ませると飲みましたが、直接、母乳を飲むことはありませんでした。

発育は遅く、歩けるようになつたのは三歳でした。役場の健診も

れる人もいます。その中で、息子本人が、人とのつながりを見つけ、大切にしていけるように背中を押してあげればいいなと思っています。

再健診にたびたび呼ばれ、仕事にも影響しました。そして、三歳の健診の時に、知的障害を宣言されショックを受けました。歩けるようになり、表情が豊かで言葉もたくさんしゃべる我が子がどうして知的障害だと言いきれるのか、その時はどうしてもそのことが受け入れられませんでした。

しかし、地元の小学校に入学し、勉強が始まると、それを受け入れざるを得なくなりました。全く、授業についていけないのです。文章が読めないし、簡単な計算もできません。授業参観に行つても、我が子は、ただ座っているだけでした。二年生からは、特別学級に入り少人数で、のびのびとできることをしていました。

そのままのびのびと学校生活を送れたらよかったです。成長するにつれ太って目立ち、周りのことを気にせず思ったことをしゃべるので、いやがらせやいじめを受けるようになりました。それでも親としてはつらかったのですが、子供自身はそのことに気づいていないことが、私にとっては、更に辛く感じました。

特別学級の児童も、普通のクラスに所属し、体育や給食と一緒に

活動する」ともあります。なので、歯ブラシとコップを、普通クラスにも置いていました。学期末に持ち帰った歯ブラシを見て、ガク然としました。普通に歯を磨いただけではすり減らないような状態で、持ち帰ったからです。こんな状態にされた歯ブラシで歯を磨いていたのか、担任の先生は気づかなかつたのか、怒りと悔しさで泣きました。その様な出来事が、たくさんありました。

中学生からは、養護学校に通うようになり、いろんな障害を持った子供さん達と接する様になりました。障害児同志でも、意思の疎通がうまくいかなくてもめることもありましたが、それは悪意ではなく障害によって起こることなので、先生や親達、周りの人々が、適切な行動で接してくれました。

一番気にかかることは、親が亡くなつた後、支援ができなくなることです。障害者のグループホームに空きはあるのか、障害年金だけで生活が送れるのか、病気になつたらどうするのか。社会がだんだん障害者に優しくなってきていますが、充分ではありません。親がいなくなつても安心した暮らししができる世の中になつてほしいと、

願うばかりです。

共に歩みつけたい

鎌田 淳子

私の夫は、直腸がんで、余儀なく手術を行つた。医師からの説明の中で、人工肛門の話があつた時は、夫は応じなかつたし、ショックで、ふさぎ込んでいた。言葉では言えない位に私は思い悩んだ結果、「生命と人工肛門、どちらを選ぶん?」と、夫にぶつけた。すると、「手術するしかないか。」と、ぽつり。その時の夫の決心には、ただただ頭が下がるだけだった。

一日に一度の割合で、入浴前に交換。夫自身が一人で処理をしている。私の役目といつたら最後にストーマーを人工肛門の口に貼り付けるだけ。この作業は子供達に付けるだけ。この作業は子供達にも頼まないし、両親にも見せた事がない。人間としてプライドが許さないのだろう。それは、トイレの中を見られているのと同じなのだから。



内部障害とは、外からは解りにくく、一般の人と同じ様に見える。が、現実は違う。人間として、排せつの重要性、食べることと同じ様

の間だった。そこからが、ストーマーとの戦いだった。医師の説明では理解していた物の、目の前で、ストーマーケアを見るのとでは、大差があり過ぎ、今までのふつぶらおなかに、ブランと口が突び出し、それを、ビニール袋の様な物で塞いでいる。本当に、人間として、耐えられない事であつただろう。しかし、私より、夫の方が前向きで、「改造人間」と言っていた。私もつい「人並みじゃないね。」と。今になって、人としての尊厳の重みが少しは理解できる様になった。簡単に、ストーマーを進めた私は、夫に申し訳なく思う。

に必須である。自分の通りにならない排せつといふと、これから何年、何十年と付き合っていくかなければならぬ夫を支えていく私は、まだ学ばなければならない。夫を、一人の人間として向き合っていきたい。

信頼関係

國井 宣孝

私達は、介護のプロとして障害の中の何の疾患であるかを把握します。その疾患の特徴や禁忌事項を、自分の中に入れていないと介助も出来ないと思います。私が大事だと思うのは、同じ疾患でも、十人いれば十人が違う特徴を出していくと云つことです。例をあげます。

障害には、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、言語障害等、まだまだあると思います。それぞれの障害も、特徴によって異なりますし、性別によっても違います。さらには、年齢によっても変化すると思います。障害のある方を介護させて頂くと言うことは、一筋縄ではないと思います。

ますと、脳血管障害であれば、梗塞なのか、出血なのか。左脳なのか右脳なのか。前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉のどこなのか。もうしくは全体なのか。そこから上肢、下肢、片麻痺、四肢麻痺なのか。それとも、高次脳機能のどれかが喪失したのか。感覚のみが鈍麻したのか。それぞれどの程度の障害度合いなのか。自分の不足している知識であげただけでも、これだけあがりました。他の内容も増えて、それぞれが複雑に絡み合って、一人の方に対する、脳血管障害が出てくるわけです。その個人の方の脳血管障害。

疾患の基本的な特徴は、ベースに考え、そこに個人を観て上乗せしていく事が、本当に大事な事だと思います。そこには、自分の人を見る感性、考え方、コミュニケーションのとり方、ラポールの築き方等、日々研鑽していく事が多々あります。それらを行いつつアセスメントを行い、その個人を理解していかなければならぬと思います。自分と他職種も分かりやすいように、個人の情報をICFにまとめて、1つの個人を紙上に表現していくわけです。健康状態、心身機能、身体構造、活動、

参加、環境因子、個人因子。一つ一つの情報を各分野へあてはめ、どれどどれが相関するのか、そしてマイナス因子だけでなく、一番大切なプラス因子を気づき発見することだが、特に大切な事です。そして、その人にしかない何か、こだわりや個人の大切にしている気持ち、物、生活の流れ、その人自身を見てあげる事が出来れば、最終的に個人の権利や尊厳を守る事につながっていくのではないかと思っています。そして、そこへ辿り着く為には、日々同じ時間を共有し、会話を重ね、小さな変化にも気づき、顔と顔を合わせて少しづづ信頼関係を深めていく事が近道であると、私は思います。

援助を受ける側

住田 賢一



私は、約一ヶ月間事故で、病院のベッドの上で、一歩も動けず寝たままの生活をした事がありました。体で動かせるのは、右手のみです。自分で動かせるのは、右手のみでした。内臓は問題が無かった為良く食べるのですが、便の方が出ず、大変だった事を思い出しま

院3ヶ月退院後一年ですみましたが、大事故なのに運が良かったと思っています。

私の母も含め、不自由な人は、その人なりに周り人に気を使っているのです。不自由な人が、何かがしたいと言ったなら、前向きな事で、出るだけさせてあげたいと思います。

本人が一番自由に動かない事に対し、一番はがゆいことを体感しこのことを生かして介護したいと

ノーマライゼーションへの切望

山下 友香

「ノーマライゼーション」といつ言葉の意味を考えてみたい。
第二次世界大戦までは、知的障害や精神障害などに対し、結婚を規制したり、強制的に断種をしたり、大規模な施設をつくって隔離収容するような差別が行われていたとのことです。障害者を、地球上に増やさないようにする方策を考えていました。戦後になって、差別や偏見をなくし、障害者も普通



の人と同じように生活できるようにしようという考え方が運動になりました。スウェーデンやデンマークから「人間の尊厳」を基本とする考え方、世界に広がりました。

人間の尊厳とは、障害者に限らず、高齢者や、病気の人など、何らかのハンディキャップを負った人々まで対象となり、これらの人々が普通の人と同じように生活ができるように、それを実現させました。

たとえば、バリアフリーは、物理的障壁だけでなく、高齢者や障害者が、心理的、社会的、制度的障壁、

大げのエレベーターなどは、車イスや足が不自由な方は、とても利用しやすい造りになっていると思います。また、小さな子供連れの方も広々と利用できたり、人にはあまり言いたくない人工肛門の方も、多目的トイレにそれ専用の流し場を取り付けられて、誰にも迷惑かけずに利用でき、外出する事が以前より増えた方も多いと思います。でも、そのバリアフリーという言葉も、実際のところ差別になるのではないかと思います。なぜなら、バリアフリーという事が世界に広まってから、そのバリアフリーを含めた「ゴーバーサルデザイン」ができたからです。

ゴーバーサルデザインは、バリアフリーより幅広く、障害の有無、年齢、人権などにかかわらず多様な人が、快適に利用できるデザインです。これは「対象」という制限がなく、この地球上に住む全ての人間誰でも当てはまる」と意味していると、私は思します。

「人権と尊厳を支える介護」を学んで

関本 沙織

介護職員初任者研修八日目、「人権と尊厳を支える介護」というテーマでグループセッション、小劇をしました。私達のグループは、私が障害を持つ「役」をし、人権を守り支える介護は、どの様な事をすべきか考えました。

私の障害(仮)は、「二十五歳女性で、交通事故で背髄損傷をし、利き手の右半身不随を患い、言語障害で自分の気持ちを伝えられない、コミュニケーション障害を持ち、母親が外に働きに出ている日々、どの様な支援をすれば良いか。」というテーマで、練り進めていきました。

話し合いを進めていく中で、登場人物(母、ケアマネージャー、ホームヘルパー、リハビリの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、リハビリへ行くための介護タクシーや、それぞれ、どの様な事項をすべきか、話し合っていく中で、①母が、地域包括支援センターへ相談。

ランをたてて、担当者会議を開く。

③母親が出勤前に、私の身の周りの世話（着替え、朝食、洗顔など）をして、仕事へ行く。

④昼前にホームヘルパー（男性）が来て、昼食の介護をする。

⑤介護タクシーで、病院のリハ

ビリへ。

⑥帰宅後、入浴介助。

⑦ホームヘルパーが帰り、母が帰宅する。

といつ流れで、一つ一つ違うするか、話しをしました。その話しの中で、私は、もし、自分が本当に事故に合い障害を持ち、介護される側になると、どんな気持ちになるだろうと、考え込みました。

私だったら、まず今までしてきた事ができないという喪失感や、この先長い人生への不安が、すごく大きいと思います。できる事は、時間をかけてでも自分でしたいと思うし、例えば、食事介助であつくり食べて時間がなくなってしまい、結局ヘルパーに食べさせてもらうのも嫌です。病院に出かける時、きっと、すっぴんで外に出る事も嫌です。帰って来て入浴介助も、男性にされるのは絶対に嫌です。で

も、それを、してもらっている側だから言いやすい。それに、言語障害で上手く伝えたくても伝わらない事によるストレスで、一番身近な母親に対してあたってしまうだろうと思いました。

介護は、作業になつてはいけない。今までどんな人生を歩んできたのか、その人の立場になつて考

える事が大切だと分りました。「人権の尊厳を支える介護」について

まだ自分は、介護における知識も

技術もないと実感、その人の「一ズに合わせた介護、その人の目線でどういう気持ちかを考えられる優しい介護士になるために、これからしっかり勉強していく」と、再認識できました。とてもすばらしい授業を、体得しました。

寄り添つ

河村 昭宣

私は四年前、母親を介護し、自宅で看取りました。

人間、歳をとると、身体のありゆる所に障害が発生し、普通の生活が自分だけでは出来なくなる事を、つぶづぶ感じられた。

幸い日本では、多少は障害者を普通に扱わなければいけないと見える人も増えてきましたが、まだまだと、私は思います。

今回は、たまたま、介護に関する講習を受ける様になり、どうすれば障害のある人が、普通の生活を出来るかを考えました。

個人で出来る事、施設で出来る

事、地方自治体で出来ぬ事、国で出来る事、世界的規模で考えなければいけない問題もあると思います。

私個人としては、まず、普通の生活が出来てない人は、どこに何の問題があつて不都合なのかを知る事です。



いつも書いていても、今の日本では、障害が無くとも経済的な理由で、普通の生活が出来ない人が多くいます。

「うして書いていても、今の日本では、障害が無くとも経済的な理由で、普通の生活が出来ない人が多くいます。

先進国といわれるアメリカでも医療が受けられない、社会的弱者になりたくない為、軍隊に入り、教育を受ける費用を國から支援してもらっているのが現実です。

まして、後進国においては、人権など無いに等しく、日本に生まれて幸せだと思っています。

以前いた会社であった事ですが、若い共稼ぎの夫婦に子どもができ、奥さんが働けなくなりました。主人の方は、手取り十七万の給料しか無く、アパート代を払った親子二人暮らせないと、上司に相談しました。その時言われた言葉が、ちょうど東北の震災の後で、「給料が出て、住む家があるだけ恵まれている。」でした。当然、彼は、他の会社に転職、私に話した事は、その上司の言葉は、「東北の被災者の前で、アフリカの食べる物が無い難民に比べたら、あなたたちは恵まれています。」と言つとの同じだと言いました。

国により、地域により、立場状況が違うので、自分の処理能力向上するのも大事ですが、その人にとって何をしてあげるのが一番いいのか良く考え、困った相手の気持ちになつて話しをしなければ、と思いました。

認知症と共に

赤川 弥杉

認知症の人は、今まで、ただ、物事を忘れてしまうだけだと思っていました。ですが、勉強していくうちに、それだけではなく、さまざまな事もあるんだ!と知りました。認知症の人の気持ちや、家族の気持ち、接している人達をまき込んで、辛く苦しむのだと知りました。ただし、その中には、楽しさや喜しいこともあります。私の周りの人達が認知症になった時、どう接していいのか、不安です。

だけど、認知症になったとしても、すべてを失つてしまふのではないことも、理解した現在、私がたずさわることになったことを、想定して一つ一つ勉強を積ね、教わったことを、忘れないでいきたいです。「あるがまま」を受け止めていく」と、「責めない」と、支援をつづけるということ。生活する環境を、安定させてあげたいと思いません。私も、絶対不安になると思うし、相手の方は、もっと不安になると思います。自尊心を、必ず大切にし、尊重する関わりを、日々の中でもんで深めていけたらなと思いました。

す。

認知症の方の気持ちを理解できるようになることで、適切で、創造的な介護が、自然に出来るようになって、それによって、認知症の方が満足し、安心や、自分が価値のある存在であると感じるなど、尊厳の回復された生活を、今まで以上に送ることが出来るようになります。いかと感じました。

家族にとっては、お年よりの方を、人生の先輩だと、感じるように

なつたり、親孝行が出来たと感じることも出来るのではないかと感じます。自分自身の将来のための見本として、年を取つていくのは、じうじうとなんだと学ばせて



人権と尊厳「認知症をもつ人の声、そして家族の声」

林 美里

ただき、自分自身も、介護をされるなり、認知症になつても幸せだと感じながら過ごしていきたいと思っています。認知症にも、いろんな種類があるから、コミュニケーション方法を学び、ありのままを受け止めるなどを理解することでも、認知症の方と、家族の方も幸せを感じていただける介護職を、目ざしていきたいと感じました。

今まで5つくらいてきた家族

が、「トイレの場所がわからない、ごはんを食べたのに食べてない」と、言つ、さつき話した事をおぼえていないなど。」やきていた事が急にできなくなるなんて、私には想像もつきません。

もし、自分の家族の誰かが、認知症になつてたりどうやって接したらいいか。まず、認知症になった家族の気持ちを、今まで以上に理解してあげようと思います。そうする事で、適切で創造的な介護が自然にできるようになるかと思います。

す。

今は、まだ、認知症の人とかかわった事がないのでわかりませんが、少しづつ理解していきたいです。

今まで、自分以外のだれがだけが認知症になる事しか考えられませんでしたが、勉強していく中で、自分も認知症になるかもしない：と、考えるようにもなりました。そうなった時に、まわりの人達や家族は、どう対応してくれるんだろう。私の気持ちを理解してくれただらうか、などの不安が出てきました。

認知症になつた人、認知症を持つ人の気持ちをくんで、介護ができるようになりたいです。



障害者の支援

恒石 啓介

ある小学二年生の男の子は、勉強が大嫌いです。学校の授業中も手遊びに没頭し、担任の話に集中できる時間も短いという。そもそも、一年生の時に授業についていけなくなったことがきっかけで、勉強から遠ざかっていったという

ことだ。当時の担任としては、全体の進展を重視し、集中すべき授業に集中せず勉強が遅れ、結果として勉強嫌いになったその男の子に対する責任が大きいと感じていたようだ。一年生の担任の子が三年になり、そのままの状態に危惧した保護者は、周囲に相談をもちかけた結果、そのアドバイスを元に勉強面では定評のある塾に、生活面では家と剣道道場で教えてもらう環境を作つていった。その結果として子どもは、少し落ち着き、勉強にも興味を持ちはじめて、一年遅れではあるが、小学一年生の学習内容を理解はじめた。

その後も、もう一度小学校の担任と男の方針について話をしました。その結果、もう一度小学校の担任と男の方針について話をし

たが、W-SC-IIを受検した上で、話を進めようとしたりして、それを受けさせたくない保護者との間で、話が進んでいないようです。担任としては、特別支援学級またはその通級を勧めたいが、保護者としては、学習進度に多少の遅れはあるが、その子と他の幼なじみと一緒に学級に所属させたいとのことであるようだ。

ここで、日常生活を考えみた時、だれもが能力に差があり、ある動作が得意・苦手・好き・嫌いといふことから始まり、もの事の考え方や判断においては、千差万別である。そのためある人を、ある方向に導こうとしたら、その方法もいく通りも考えられる。それは、看護・介護それに教育の各界についても、当時はまると思える。

先日の講義で、ニーズとアマンドについて教えて頂いたが、まずは、アセスメントにより状況を把握・分析する必要がある。大切なのはその次の段階で、サービスを受ける本人が人として扱われたい方向に沿って、サービスを策定していく必要があると思われる。

小学二年生といえば、すでに普通の学級と特別な学級の差異に気付く年齢である。また、将来的にも

通常学級で過ごすいじりの本人のプライドにも目を向けたい。本人のニーズはともあれ、W-SC-IIが区別または、差別の種となつてはいけない。自分には能力がないと思わせて、やる気を失わせてはいけない。

つまり、サービスは支援側の独断で進めるべきではない。人は人として尊重されるべきで、補助を受ける立場になつても例外ではない。今回の講義を聴講し、介護・福祉の各界にも、もちろん教育の各界にもその発想は、大変重要な視点であると実感した。



<p>介護保険業務の 様々なご要望にお答えします</p> <p>介護保険トータルシステム「Rely II」</p> <p>株式会社 アール・シー・エス</p> <p>高松市林町 2217 番地 15 香川産業頭脳化センター TEL:(087)869-8811 FAX:(087)869-8822</p>	<p>はじめまして まいとうんメール便 です</p> <p>高松メールセンターからのご案内</p> <p>メール便… ハガキ 封書 カタログ など</p> <p>激安価格で 配達します</p> <p>お問い合わせは 四国メールネットワーク協同組合 (有)タウンネット 高松メールセンター</p> <p>高松市朝日町4丁目10番60号 TEL.087-813-0426 FAX.087-813-0436 E-mail takamatsu@carol.ocn.ne.jp http://www.shikoku-mp.com/</p>	<p>www.sanuki-taberu.net</p> <p>株式会社 ウエイ企画 〒760-0062 香川県高松市塩上町7-2 TEL:087-837-1159 FAX:087-897-3007 コーポレートサイト http://www.network-way.com</p>
<p>あいおいニッセイ同和損保代理店</p>	<p>カウネット(kaunet)代理店</p>	<p>総合印刷・イベント事業・マニュアル制作 デジタルコンテンツ企画制作</p>
<p>(株)フリーエージェント 八田 和忠</p> <p>*損保・生保・社会保険労務士* 扱っています。</p> <p>高松市伏石町 2028-2 TEL 087-816-8123 FAX 087-815-1171</p>	<p>(有)田所商店</p> <p>OA 機器・スチール製品・紙文房具等 ☆少量から承ります。</p> <p>高松市古馬場町 2-13 TEL 087-821-7515 FAX 087-821-2774</p>	<p>株式会社 高松 東京</p> <p>成光社</p> <p>〒760-0065 高松市朝日町5-14-2 ☎ 087-823-0222 ☎ 087-823-0211 www.seiko-sha.co.jp</p>
<p>介護に関する リフォームなら</p>	<p>香川銀行は平成25年2月1日、創立70周年を迎えます。</p>	<p>消防設備土の店</p>
<p>(有)住まいのデザイン ただ</p> <p>2000 件を超える豊富な工事実績と信頼で 安全で安心できるリフォームを ご提案いたします。</p> <p>TEL 087-863-7215 高松市木太町 3 区 2067 番地</p>	<p>香川銀行</p> <p>トモニホールディングス</p>	<p>四国防災設備 有限会社</p> <p>消防設備保守点検</p> <p>〒761-0612 香川県木田郡三木町氷上1833-6番地 TEL(087)898-3913 FAX(087)898-8801</p>
<p>編集後記</p> <p>今回、編集にあたり、各センターの皆様方には、ご無理をお願い致しました事のお詫びと御礼を申し上げます。お陰さまで、無事、会報を発行する事が出来ました。皆様と利用者様との関わりの中で培われたいろいろな思いを知ることができ、感激しております。</p> <p>この夏の猛暑、水害、竜巻などにより、被害にあわれた方々に、お見舞い申し上げます。</p>	<p>ご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● E-mail (電子メール) ●  <p>magokoro@hyper.ocn.ne.jp</p> ● URL (ホームページ) ●  <p>http://www.jp-care.gr.jp</p> 	<p>四国防災設備 有限会社</p> <p>愛媛県四国中央市中之町1684-10 TEL(0896)24-1000 FAX(0896)24-1007</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理学療法学科 (3 年制) ●作業療法学科 (3 年制) ●言語聴覚学科 (3 年制) ●介護福祉学科 (2 年制) ★看護学科 (3 年制) 平成 26 年 4 月開校準備中 ●社会福祉学科 (通信: 1 年 8 月) ●精神保健福祉学科 (通信: 9 月 / 1 年 8 月) ★ケアマネ試験対策講座 & 社会福祉士・精神保健福祉士 <p>国試対策講座・介護技術講習会受付中 !!</p> <p>詳しくは http://www.rwf.ac.jp をご覧ください。</p>

全国まごころケアネット
特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会
まごころケアサービスセンター

センターの名称	住 所	Eメール	TEL	FAX
本 部	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-815-0771	087-815-0773
まごころケア旭川	〒070-0037 北海道旭川市7条通8丁目セントラル7条ビル202号室	magokolo@tmt.ne.jp	0166-26-8639	0166-74-3172
まごころケア塩釜	〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町39-2	jmss@cocoa.ocn.ne.jp	022-362-2030	022-362-3303
まごころケア仙台 はなまる広場	〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷3丁目4-11	finamo_1_s@yahoo.co.jp	022-253-2627	022-253-2627
まごころケアサービス 福島センター	〒960-2262 福島県福島市在庭坂宇南林60-2	magokoro@safins.ne.jp	024-573-7539	024-591-5441
まごころケアサービス しみずセンター	〒960-8253 福島県福島市泉字清水内3		024-557-3380	024-557-3380
まごころケアサービス 二本松センター	〒964-0903 福島県二本松市根崎1-9	kuwabara.masaaki@ivory.plala.or.jp	0243-22-0112	0243-22-0112
まごころケア国見	〒969-1761 福島県伊達郡国見町大字藤田字南54-2	magokoro923@yahoo.co.jp	024-585-5923	024-585-5924
まごころケア千葉	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-23-15 グランドツール第2 107号		043-274-9711	043-274-9718
まごころケアひまわり	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1丁目21-21		043-275-1872	043-275-1872
まごころケア横芝	〒289-1738 千葉県山武郡横芝光町鳥喰上2283		0479-82-1762	0479-82-1835
まごころケア桑員	〒511-0233 三重県員弁郡東員町城山3-7-8		0594-76-8734	0594-76-8734
まごころケア京田辺	〒610-0331 京都府京田辺市田辺北川144番地	sqkg13630@leto.eonet.ne.jp	0774-64-3722	0774-64-3722
まごころケア神戸 なんきんまめ	〒651-2311 兵庫県神戸市西区神出町東1188-348	nankinmame@gol.com	078-965-3424	078-965-3428
まごころケア加古川	〒675-0062 兵庫県加古川市加古川町美乃利409-28	tera1954-masa@beige.plala.or.jp	0794-24-9150	0794-24-9150
まごころサービス 岡山センター	〒703-8232 岡山県岡山市関19番地1	magokoronowa@mx4.et.tiki.ne.jp	086-278-2926	086-278-2966
まごころサービス 倉敷センター	〒706-0001 岡山県玉野市田井3-12-18	rappyon@h9.dion.ne.jp	0863-31-6640	0863-31-5110
まごころケア高松	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-865-8001	087-865-8039
まごころケア国分寺	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分1284-1	ajisai@eagle.ocn.ne.jp	087-874-6625	087-874-6685
まごころケアにこにこ三豊	〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬1883-1	nikoniko-mitoyo@shirt.ocn.ne.jp	0875-73-6750	0875-73-6751
まごころケア丸亀	〒765-0032 香川県善通寺市原田町1317-7	tyusan.n-377-p4376-o@wing.ocn.ne.jp	0877-64-0278	0877-64-0279
まごころケア屋島やすらぎ	〒761-0111 香川県高松市屋島東町1414	ma11ka1584yasuragi@swan.ocn.ne.jp	087-843-9590	087-841-3853
まごころケアはぴねす・ まんのう	〒766-0021 香川県仲多度郡まんのう町大字四條615-4		0877-75-4322	0877-75-4343
まごころケアサービス 大川センター	〒761-0904 香川県さぬき市大川町田面1198	okawa@samariya.or.jp	0879-43-3191	0879-23-2712
まごころサービス 徳島センター	〒770-0923 徳島県徳島市大道3丁目22-1	magokoro@coral.plala.jp	088-624-6578	088-624-6585
まごころケア ぱっかぽか川之江	〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町1660-1	tani280610@yahoo.co.jp	0896-56-2623	0896-56-2623

「日本ケアシステム協会」会報

平成25年9月25日 発行No.125

発 行 所 〒761-8052 高松市松並町802番地1
 TEL 087-815-0771 FAX 087-815-0773
 編集発行人 兼間 道子
 郵 便 振 替 口座番号 01610-0-92689
 印 刷 所 (株)成光社